

大和市教育委員会 9 月定例会

日 時 令和 7 年 9 月 2 9 日

午前 1 0 時 0 0 分

場 所 教育委員会室

1 開 会

2 会 議 時 間 の 決 定

3 会議録署名委員の決定

4 教 育 長 の 報 告

5 議 事

日程第 1（議案第 2 5 号） 令和 8 年度大和市公立学校県費負担教職員人事異動方針
について

6 そ の 他

7 閉 会

（１）前月定例会以降の動き

1. 大和市文化芸術活動支援補助金選考会議及び やまと芸術文化ホール開放事業（舞台の部）認定会議	8/19（火）	大和市役所
2. 高齢者叙勲叙位叙勲伝達式	8/20（水）	大和市役所
3. 教育研究所発表会	8/20（水）	渋谷学習センター
4. 神奈川県華道展	8/21（木）	横浜高島屋
5. 初任者研修	8/22（金）	文ヶ岡小学校
6. 心正書道会	8/22（金）	文化創造拠点シリウス
7. 中学生の中学生による中学生のための会議	8/24（日）	大和市役所
8. 大和市青少年健全育成大会表彰選考委員会	8/25（月）	大和市役所
9. 学校給食調理従事者研修会	8/26（火）	保健福祉センター
10. 青少年相談室夏季研修講座兼課題解決力向上研修講座	8/26（火）	光丘中学校
11. 第 2 回コスドンカップ 一般社団法人大和市野球連盟育成部秋季第 5 9 回 学童軟式野球大会開会式	8/31（日）	大和スタジアム
12. 綾瀬児童相談所竣工式	9/ 7（日）	綾瀬児童相談所
13. 表敬訪問（神奈川県防具空手道連盟）	9/11（木）	大和市役所
14. 秋の全国交通安全運動に伴う街頭キャンペーン	9/22（月）	鶴間交差点
15. 熊野神社例大祭	9/23（火）	大東公園
16. 相模ダンススポーツ競技大会	9/24（水）	大和スポーツセンター
17. 光丘中学校総合的な学習の時間研究発表大会	9/26（金）	光丘中学校
18. やまと国際アートフェスタ	9/26（金）	文化創造拠点シリウス

(2) 令和7年大和市議会第3回定例会日程

- ・本会議 初日 8/28 (木) 一般質問 9/17 (水)・18 (木)・19 (金)
最終日 9/25 (木)
- ・委員会 こども教育常任委員会 9/ 2 (火) 厚生常任委員会 9/ 3 (水)

○ 一般質問の概要

- ① 町田 零二 議員 ・学校の統廃合を検討してはどうか
- ② 金原 忠博 議員 ・小中学校における平和教育について ・給食カフェについて
- ③ 西田 恵美 議員 ・市立小中学校の老朽化問題について ・統廃合について
・中学校の体操着について
- ④ 石田 裕 議員 ・国籍の違いを認め尊重し合う学校教育について
- ⑤ 村田 玲 議員 ・全国学力テストの結果と ICT 教育の現状について
・社会保険労務士による出前授業について
・大和市における投票率とシティズンシップ教育について
- ⑥ 河端 恵美子 議員 ・オーバードーズについて ・子どもを性被害から守るために
- ⑦ 大波 修二 議員 ・学校における ICT 教育について
- ⑧ 吉田 奈々 議員 ・小中学生における目の健康について
- ⑨ 小倉 隆夫 議員 ・子どもの生活環境の中でスマートフォンとの関わりについて
- ⑩ 青木 正始 議員 ・光丘中学校の記念樹について
・命を大切にすることを育む教育について

(3) 次月定例会までの予定

- | | | |
|---|-----------|------------------------------|
| 1. 大和市青少年問題協議会 | 9/30 (火) | 大和市役所 |
| 2. 県央教育事務所管内教育長会議 | 10/ 2 (木) | 綾瀬市役所 |
| 3. 大和市戦没者追悼式 | 10/ 3 (金) | 保健福祉センター |
| 4. 桜丘地区市民体育祭 | 10/ 5 (日) | 桜丘小学校 |
| 5. 大和市野球選手権大会(学童の部・中学の部)及び
大和市内高等学校交流大会開会式 | 10/11 (土) | 大和スタジアム |
| 6. 大和市太極拳フェスティバル2025 | 10/13 (月) | 大和スポーツセンター |
| 7. 小中校長会 | 10/15 (水) | 大和市役所 |
| 8. 違法駐車追放運動に伴う街頭キャンペーン | 10/15 (水) | 中央林間駅周辺 |
| 9. 美術講演会 | 10/17 (金) | 文化創造拠点シリウス |
| 10. 市民劇団演劇やまと塾第38回公演 | 10/19 (日) | 保健福祉センター |
| 11. 学校訪問 | 10/21 (火) | 大野原小学校・上和田小学校
渋谷小学校(スマイル) |

議案第 25 号

令和 8 年度大和市公立学校県費負担教職員人事異動方針について

令和 8 年度大和市公立学校県費負担教職員人事異動方針について、審議願いたく提案する。

令和 7 年 9 月 29 日提出

大和市教育委員会

教育長 藤 井 明

令和8年度大和市公立学校県費負担教職員人事異動方針

大和市教育委員会

大和市教育委員会は、学校の組織としての能力を高めるとともに、教職員の意欲と専門性の向上を図るため、また、教職員の世代交代が円滑に進むよう、人事異動にあたっては、次の事項を基本方針とし、関係機関の協力のもとに教職員の適正な配置に努めるものとする。

【基本方針】

1. 組織力の向上を図る。

本市教育の活性化を図り、多様な教育課題に対応し、教育効果を高めるため、積極的に転任及び配置換えを行い、教職員組織の充実と均衡化に努め、魅力ある学校づくりの推進と学校の組織力の向上を図る。

2. 人材育成を推進する。

世代交代が進み、教職員の年齢構成等が変わりつつある中、全市的な視野に立った人事異動により、一人ひとりの教職員が多様な経験を積み、組織内での自らの役割を意識し、意欲的に力を発揮できるよう、人材育成を推進する。

令和7年度教職員人事概要

◎ 令和7年5月1日現在の教職員数（定数）

小学校：747人

中学校：385人 計 1,132人

1. 総括教諭・教諭の男女・年齢別【正規職員のみ（産休・育休者含む）】（令和7年5月1日現在）

年齢		30歳以下	31～40歳	41～50歳	51～61歳	計	男女の比率
小学校	男	47	110	67	17	241	39.3%
	女	90	154	94	35	373	60.7%
	計	137	264	161	52	614	100.0%
	率	22.3%	43.0%	26.2%	8.5%	100.0%	—
中学校	男	32	62	45	10	149	55.8%
	女	31	52	25	10	118	44.2%
	計	63	114	70	20	267	100.0%
	率	23.6%	42.7%	26.2%	7.5%	100.0%	—

※再任用は含まない。

2. 同一校多年勤務者数（総括教諭・教諭）（令和8年3月31日見込）

	10年以上	9年	8年	計	割合
小学校	6	5	19	30人	4.9%
中学校	4	8	11	23人	8.6%

3. 令和6年度末異動状況（教職員）

		小学校	中学校	計
辞職		17	17	34
転出	県内	8	0	9
	県外	1	0	
管理職異動		17	9	26
市内配置換		74	40	114
転入		10	6	16
新採用	男	12	7	44
	女	18	7	
計		157	86	243

辞職→定年、勸奨、普通、辞職C
 県立、国大、中等、県特交流
 転出→県内 校種を変えずに転任
 県外 県外・政令市で採用
 転入→管内、管外からの転入
 県特戻り 採用C（総括まで）

4. 新採用教職員数の推移（教諭、養護教諭、事務職員、栄養職員を含む）

年度	26	27	28	29	30	R1	2	3	4	5	6	7
小学校	44	29	30	36	37	40	36	38	23	27	32	30
中学校	18	13	13	15	22	19	16	17	13	12	15	14
計	62	42	43	51	59	59	52	55	36	39	47	44

5. 再任用教職員数の推移

年 度		2 6	2 7	2 8	2 9	3 0	R 1	2	3	4	5	6	7
小 学 校	教 諭	4 2	3 3	2 8	2 5	2 2	2 4	2 3	2 1	1 4	1 7	7	5
	養護教諭	0	0	0	2	2	0	0	2	1	2	0	0
	栄養職員	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
	事務職員	3	4	6	4	3	2	2	1	2	1	0	0
中 学 校	教 諭	2 5	2 0	2 3	2 0	1 7	2 2	2 6	3 1	2 7	3 0	2 3	2 6
	養護教諭	0	0	0	0	0	1	2	2	1	1	1	1
	栄養職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事務職員	0	0	1	1	1	2	1	0	0	0	1	1
合 計		7 0	5 7	5 8	5 2	4 7	5 1	5 4	5 7	5 1	4 5	3 2	3 3

6. 児童・生徒・教職員数等の推移

(各年度 5月1日現在)

年度	小 学 校				中 学 校			
	学校数 (校)	児童数 (人)	学級数 (C)	教職員 数 (人)	学校数 (校)	生徒数 (人)	学級数 (C)	教職員 数 (人)
2 6	1 9	11,504	424	658	9	5,587	177	365
2 7	1 9	11,628	435	659	9	5,517	175	360
2 8	1 9	11,618	434	663	9	5,467	174	356
2 9	1 9	11,729	440	664	9	5,432	175	363
3 0	1 9	11,880	445	678	9	5,305	176	359
1	1 9	11,799	446	695	9	5,338	177	365
2	1 9	11,926	458	708	9	5,359	183	369
3	1 9	11,777	459	719	9	5,571	188	376
4	1 9	11,797	466	726	9	5,600	190	380
5	1 9	11,778	474	745	9	5,669	190	382
6	1 9	11,721	481	743	9	5,577	189	383
7	1 9	11,661	489	747	9	5,515	186	385

7. 令和7年度学年別児童・生徒数

(令和7年5月1日現在)

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	特別支援	計
小学校	1,748	1,833	1,835	1,863	1,860	1,899	623	11,661
中学校	1,714	1,788	1,797				216	5,515

大和市学校教育基本計画に基づく学校評価アンケート

その他報告

令和7年9月29日

学校評価の目的

- ☐ 学校が、自らの教育活動その他の学校運営について、目指すべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について評価することにより、学校として組織的・継続的な改善を図ること。
- ☐ 学校が、自己評価及び保護者など学校関係者等による評価の実施とその結果の公表・説明により、適切に説明責任を果たすとともに、保護者、地域住民等から理解と参画を得て、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりを進めること。
- ☐ 学校の設置者等が、学校評価の結果に応じて、学校に対する支援や条件整備等の改善措置を講じることにより、一定水準の教育の質を保証し、その向上を図ること。

令和6年度学校評価アンケート結果

基本目標		施策の方向	具体的な内容例	評価	小	中	指導室 分析
基本目標 1	子ども一人ひとりの学びを保障し、確かな学力を育てます	1 基礎的・基本的な知識及び技能の習得と活用を重視した教育を推進します	・少人数学級、少人数(TT)指導 ・SA、学習支援ボランティアの活用 ・授業改善	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	4 15 0 0	6 3 0 0	少人数指導やSAの活用、寺子屋コーディネーターや放課後寺子屋との連携等により、きめ細やかな指導ができ、基礎的な知識・技能の習得について、成果が出ている。また、小学校では、専科による授業や交換授業を行い、学級担任の担当教科を減らすことで、教材研究の充実を図り、授業改善に取り組んでいる。
		2 「主体的・対話的で深い学び」の視点から学習過程を改善し、質の高い学びを実現する取り組みを推進します	・指導と評価の一体化 ・校内研究 ・ICT機器の活用 ・調べる学習(探究的活動) ・学習における新聞の活用	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	12 7 0 0	5 4 0 0	教員同士が、互いの授業を見合ったり、対話を深めたりする等、「主体的・対話的で深い学び」の視点から、さまざまな手法を用いて、授業研究、授業改善を行い、教員の指導力向上に努めている。また、ICT機器の有効活用がより進んでおり、教育効果が上がっている。
		3 学習に対して困難をかかえる子どもに適した教育を推進します	・外国人児童生徒に対する支援 ・(特別)支援教育 ・児童支援中核教諭 ・SC、SSW、相談員	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	11 8 0 0	8 1 0 0	児童支援中核教諭や教育相談コーディネーターを中心に、チームとして対応できるよう、校内支援体制の整備や充実を図っている。児童生徒の個々の状況を把握し、教職員で情報共有、支援方法を検討する時間を定期的に設けている。また、多様な教育的ニーズに応じて、適切に支援が行えるよう、状況に応じて、関係機関とも連携を図っている。
		4 今日的な教育課題に対応した授業に向けて研究・研修を深めます	・校内研修 ・プログラミング教育	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	6 13 0 0	7 2 0 0	各学校の実態に応じて、校内研究のテーマを設定し、講師招聘や指導主事による訪問研修等を実施している。また、教職員同士で授業を見合ったり、教材研究を行ったりする等、情報交換の場を設定し、校内でのOJTが広がるよう取り組みを進めている。プログラミング教室では、主体的で積極的な児童生徒の参加が見られている。
		5 学びを支える教育環境整備を進めます	・教材、教具の工夫(ICT機器含む) ・校務支援システムの活用	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	8 11 0 0	6 3 0 0	一人一台端末を活用し、児童生徒一人ひとりに応じた学習環境を整えることができており、活用の仕方の幅も広がっている。また、ICT機器の活用も進み、視覚的に分かりやすい授業の展開や授業形態の多様化を図ることができている。校内支援システムの有効活用により、事務作業時間が短縮され、円滑な業務の推進が図られている。

※各学校の自己評価 A:達成できた、B:おおむね達成できた、C:達成に及ばなかった、D:課題がある

基本目標		施策の方向	具体的な内容例	評価	小	中	指導室 分析
基本目標 2	様々な体験を通し、豊かな感性を育みます	1 想像力を豊かにする読書活動を推進します	・読書活動 ・朝読書、読み聞かせ ・学校図書館の活用 ・図書館教育の推進	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	7 12 0 0	5 4 0 0	朝読書や読み聞かせを実施したり、担当教諭と学校司書が連携し、選書や図書館のレイアウトを工夫したりすること等を通して、児童生徒の本への興味・関心が高まり、読書の幅も広がるなど、読書活動の推進につながっている。また、調べ学習において、書籍とデジタル教材を併用することで、情報を活用し表現する力の育成にもつながりつつある。
		2 感受性を育て、表現する力を養う教育を推進します	・芸術鑑賞 ・福祉体験 ・日本の伝統文化に触れる授業 ・給食時間を活用したコミュニケーション	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	8 11 0 0	3 6 0 0	芸術鑑賞では、演奏や演技を生で鑑賞し、優れた芸術に触れることで、児童生徒の感性が育まれている。福祉に関する学習では、当事者の話を聞いたり、福祉体験を取り入れたりすることで、深い理解、学びにつながっている。給食では、校内放送の工夫やランチルームの活用等の取り組みにより、対話によるコミュニケーションの活性化につながっている。
		3 様々な体験学習の機会を提供します	・体験活動 ・キャリア教育 ・職場体験、職業講話等 ・自然体験学習	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	11 7 1 0	6 3 0 0	キャンプや修学旅行、社会見学等を実施し、普段と異なる生活環境で、児童生徒が、見聞を広め、自然や文化などに親しむことができています。地域との交流により、児童生徒が地域学習に参加し、地域の一員であることを実感できている。職場体験や職業講話を実施し、自分の将来や社会との関わりについて考えるよい機会となっている。

※各学校の自己評価 A:達成できた、B:おおむね達成できた、C:達成に及ばなかった、D:課題がある

基本目標		施策の方向	具体的な内容例	評価	小	中	指導室 分析
基本目標 3	安心安全な環境を整え、健康な心身を育てます	1 心身ともに健康に生活を送るための、健康教育を推進します	・健康の保持増進 ・体力、運動能力の向上 ・教員が子どもと向き合う活動 ・教育相談	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	12 7 0 0	6 3 0 0	体育・保健体育の授業を中心に、体力、運動能力の向上、健康の保持増進となるよう、取り組んでいる。また、休み時間等を活用したレクリエーションや児童生徒が主体となり企画したスポーツ大会などを実施している。日常の児童生徒の表情や態度のささいな変化を見逃すことがないように、教職員による観察や言葉かけを行うとともに、児童生徒へのアンケートや教育相談も実施している。
		2 健康な心身のための、食育を推進します	・食育	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	3 16 0 0	3 6 0 0	給食指導や教科指導を通して、「食」の大切さや望ましい食習慣などについて、学んでいる。また、栄養教諭や栄養技師等の専門的見地からの授業も実施している。委員会活動や給食時間の放送を通じ、児童生徒が「食」への関心を高めるような取り組みを実施している。家庭との連携を目的に、給食試食会を行っている学校もある。
		3 命を守る、安全教育を推進します	・命の授業 ・安全・防災教育 ・情報モラル教育 ・登下校の安全、パトロール ・PSメール ・防災計画の改善	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	7 12 0 0	6 3 0 0	道徳や特別活動の時間をはじめ、命の授業等を通して、命の大切さや尊さ等について学んでいる。学校防災マニュアルの見直しや、様々な災害を想定した訓練や不審者対応訓練などを実施している。学校PSメール・すぐーるで、効果的な情報発信に努めている。地域のボランティアとも連携を図り、登下校時の児童生徒の安全を確保している。
		4 安全安心で、子どもが落ち着いて学べる学校の環境づくりを進めます	・教室環境の整備・美化 ・学校施設の維持管理 ・学校安全計画、危機管理マニュアル	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	5 14 0 0	5 4 0 0	各学校において、学校安全計画を定期的に見直し、実際に活用できる計画を策定している。教職員による学校施設の定期的な安全点検を行い、教室環境の整備、施設の維持に努めている。熱中症対策ガイドラインを教職員で共通認識し、適切な対応に努めている。

※各学校の自己評価 A:達成できた、B:おおむね達成できた、C:達成に及ばなかった、D:課題がある

基本目標		施策の方向	具体的な内容例	評価	小	中	指導室 分析
基本目標 4	多様性を尊重し、 他者とともに生きる 社会性を育てます	1 いじめのない学校生活 に向けた取り組みを進 めます	・いじめ対策	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	9 10 0 0	9 0 0 0	各学校の「いじめ防止基本方針」に基づき、児童支援中核教諭・生徒指導担当教諭が中心となり、教職員の共通理解を図っている。未然防止・早期発見・早期対応ができるよう、学校ごとに工夫して、さまざまな取り組みをしている。また、関係機関等と連携しながら、学校全体で組織的な対応を行っている。道徳や特別活動の時間に、「いじめ防止に向けた」学習に取り組んでいる。
		2 不登校のない、だれも が通いたくなる学校作 りを進めます	・不登校対策	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	7 12 0 0	6 3 0 0	校内支援委員会や職員会議等で、児童生徒の情報交換や支援の方向性を検討する等、不登校の未然防止、早期対応に努めている。また、不登校状態の児童生徒に対しては、家庭と連携を取り、家庭訪問や別室登校等、個別の対応を行っている。校内教育支援センターの設置や支援体制の充実に取り組んでいる。
		3 社会性を育む道徳教 育を推進します	・異学年交流等による社会性の育成 ・道徳教育 ・人権教育 ・教員の人権意識の向上	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	8 11 0 0	5 4 0 0	計画的に異学年交流を実施し、児童生徒の社会性を育むことができています。道徳科の授業を中心に、教育課程全般を通して、道徳教育を推進している。外部講師を招聘し、人権教室や講演会等を実施し、人権教育の推進をしている。不祥事防止研修等、様々な研修を通じて、教職員の人権意識の向上を図っている。
		4 社会に開かれた学校 教育を推進します	・地域の施設等訪問、ボランティア活動 ・学校評価 ・学校評議員会 ・ホームページ、学校便り ・地域人材力の活用	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	9 10 0 0	2 7 0 0	学校評議員会や学校運営協議会を開催し、授業や学校行事の参観をしていただくとともに、学校の現状を伝え、様々な視点から、ご意見やご助言をいただいている。地域の方の見守り活動や清掃活動によって児童生徒の安全対策の支えとなっている。学校評価アンケートの回答を電子化することで、アンケート回収率を向上することができた学校がある。

※各学校の自己評価 A:達成できた、B:おおむね達成できた、C:達成に及ばなかった、D:課題がある

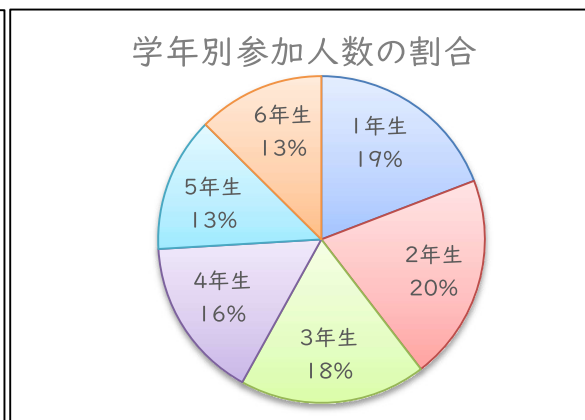
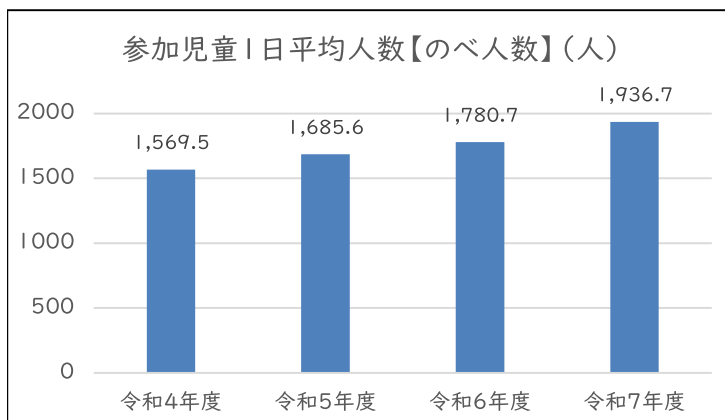
「令和7年度 夏休み小学校寺子屋やまと」について

(1) 参加児童人数【のべ人数】

単位:人	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計	備考
令和4年度	3,490	3,206	3,028	2,514	1,899	1,558	15,695	10日間開催
令和5年度	4,034	3,438	2,932	2,718	2,113	1,621	16,856	10日間開催
令和6年度	4,102	3,647	3,001	2,744	2,472	1,841	17,807	10日間開催
令和7年度	2,596	2,772	2,502	2,171	1,812	1,704	13,557	7日間開催

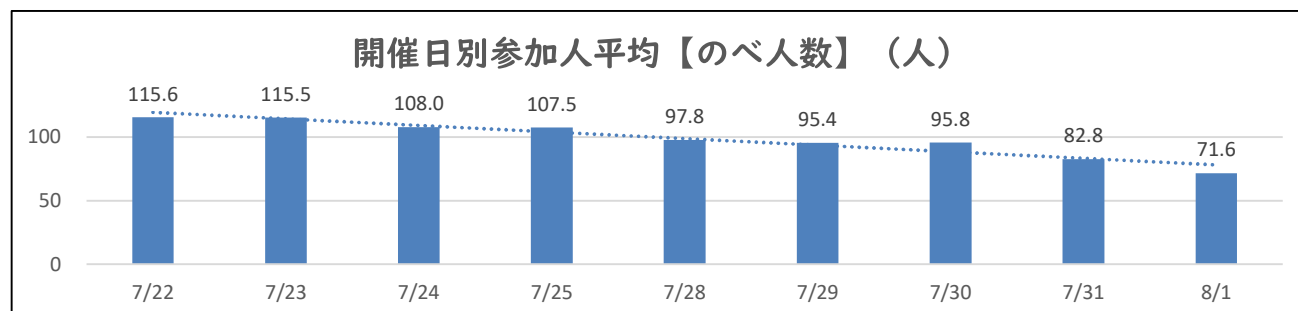
(2) 参加児童1日平均人数【のべ人数】

単位:人	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
令和4年度	349	321	303	251	190	156	1,569.5
令和5年度	403	344	293	272	211	162	1,685.6
令和6年度	410	365	300	274	247	184	1,780.7
令和7年度	371	396	357	310	259	243	1,936.7



(3) 開催日別参加人数【のべ人数】

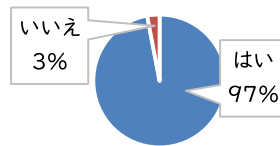
	7月22日 (火)	7月23日 (水)	7月24日 (木)	7月25日 (金)	7月28日 (月)	7月29日 (火)	7月30日 (水)	7月31日 (木)	8月1日 (金)
実施校数	17	16	17	17	14	18	18	11	5
人数(人)	1,965	1,848	1,836	1,828	1,369	1,717	1,725	911	358



「令和7年度 夏休み小学校寺子屋やまと」児童からのアンケート

(1) 夏休み寺子屋やまとに来てよかったですか。

はい	97%
いいえ	3%



(2) 夏休み寺子屋やまとでどんな勉強をしましたか。(複数回答)

学校の宿題	92%
家で勉強している問題集など	47%
寺子屋のプリント	23%
作文・感想文	9%
絵やポスター・工作	7%

<その他>

・スタディサプリ ・計算ピラミッド ・塾の勉強 ・自主学習
 ・英語 ・習い事の課題 ・漢字検定 ・読書 ・日本語の学習
 ・そろばん ・自由研究 ・プログラミング 等

(3) 夏休み寺子屋やまとのいいところはどんなところですか。(複数回答)

わからないところを先生や友だちに教えてもらえる	65%
友だちと一緒に勉強できる	67%
落ち着いて勉強できる	61%
やる気が出る	57%

<その他>

・先生たちの教え方が上手で勉強がわかるようになる。 ・先生にほめてもらえる。
 ・先生がいて安心できる。 ・先生といろいろなことを話せる。
 ・宿題を一気に終わらせることができる。 ・朝起きるきっかけになる。 ・勉強がはかどる
 ・整理整頓された教室で勉強できる。 ・涼しい教室で集中できる。 ・図書館に行って本が読める。
 ・家にはない本やプリントを使って勉強できる。 ・宿題が終わっても勉強できるプリントなどがある。
 ・午前中に勉強できる。 ・難しい問題に挑戦できる。 ・誘惑がなく勉強に集中できる。

令和7年度 夏休み中学校寺子屋やまについて 報告

夏休み寺子屋やまど (中学校寺子屋学習支援コーディネーター・学習支援員が対応)

○日数 6～9日(各学校で設定)

○対象 全学年

○参加人数

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
実人数	475	516	806	637	622
延べ人数	1768	1740	2071	2056	2395

○参加した生徒のアンケートより

(以下アンケート抜粋)

○寺子屋でどんな勉強をしましたか？

- ・夏休みの課題
- ・苦手な教科
- ・予習
- ・塾の宿題
- ・検定に向けての学習

○学習で困っていること

- ・各教科
- ・英語のリスニング
- ・集中力が持たない
- ・受験の不安
- ・初歩的なミスが無くならない

○参加した生徒の感想(一部)

- ・先生が優しい
- ・苦手だった数学に少し自信が持てた
- ・来年も参加したい
- ・誘惑が無くて集中できた
- ・涼しくて快適
- ・初めて参加したが、もっと早く参加すればよかった
- ・皆と教え合いながら勉強出来た
- ・思っていた以上に勉強がはかどった
- ・座席指定で落ち着いて取り組めた
- ・家に居るとやらないから参加してよかった

